

移動運用における呼出符号(コ - ルサイン)

by JA0SC

はじめに

国内では移動運用の際、われわれアマチュア無線局は、呼出符号(コ - ルサイン)の次に「/(ポータブル、ストロ - クなど)の次に0~9(JAなどをたまにつける局もいる)」と呼称します。では、「/1」はどうでしょう。皆さん誰でも「関東エリア」と認識するでしょう。ところがどっこい「JD1(小笠原、南鳥島)」も「1」です。すでに消滅カントリ - のJD1「沖の鳥島(小笠原諸島に連なる太平洋上に浮かぶ日本最南端の島(サンゴ礁)である。Wikipediaから)」も「1」です。となると「/1」は、厳密の言えば移動運用場所を表していないことになります。

日本の電波法同運用規則

移動運用の際の呼出符号の呼称について、日本では触れていないようです。信越総合通信局照会。ただし、過去には次のような規定がありました。(総務省訓令第67号「電波法関係審査基準」の中「別表3 識別信号の指定基準」4 呼出符号 4.5 アマチュア局

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%AD%98%E5%88%A5%E4%BF%A1%E5%8F%B7#.E3.82.A2.E3.83.9E.E3.83.81.E3.83.A5.E3.82.A2.E5.B1.80>参照)

常置場所以外から運用する場合には、識別信号の末尾に/(斜線、日本では「ポータブル」、外国では「ストローク」と発音)と管轄の総合通信局を表す数字を付ける[22](脚注)。

例: JK2ABC/1は、常置場所は東海管轄、実際の運用地点は関東管轄である。

脚注[22] かつての郵政省(当時)の通達、郵波陸第261号(昭和30年2月9日)による規定。ただし現在は効力を逸している。

世界各局

他の国ではどうでしょうか。「Saipan Rental Shack

http://saipan.rental-shack.com/operation%20by%20ja_license.html 参照」にこの点が触れられています。

日米間の相互運用協定におきましては、前に「WHØ/」、「NHØ/」、「AHØ/」を付けたコールサインでの運用に制限が見あたらないのですが*1、CEPT協定(ヨーロッパを中心とする国際免許の協定)では、具体的に前に「KHØ/」を付けたコールサインでの運用が示されています。サイパンレンタルシャックと致しましては、CEPT協定と異なるコールサインでの運用はしない方が賢明であろうと判断しています。*1 筆者注: 言い換えれば後にもつけているのです。

FCC試験を受験させた方はご存じかと思いますが、FCCライセンスは、FCC ULSに合格者のコールサインが掲載された時点で有効になり、同時に相互運用協定による日本の免許での運用が出来なくなります。筆者注: K2AAA/1、KB4ABC/JD1は、ありえないのです。

DXCC(米国のアマチュア無線連盟ARRL発行のDXCC[DX Century Club]アワード

<http://www.arrl.org/awards/dxcc/> 参照) 上のプリフィックス

アマチュア無線局の呼出符号(コ - ルサイン)は、どのようにして組み立てられているのでしょうか。たとえば当局の「JA0SC」は、「JA0」がプリフィックス、「SC」がサフィックスであると承知してます。先ほどの「別表3 識別信号の指定基準 4 呼出符号 4.5 アマチュア局」には以下のような述べられています。

日本では、一般には「2字 + 1数字 + 2~3文字」の形を、特別催事の場合には「2字 + 1数字 + 1~5字」(ただし、末尾はアルファベット)の形をとる[7]脚注略。例: JA1GY、8J1RL、JR3AAAなど。ここで、通常用いられる部分名称は、以下のとおり。

「プリフィックス」

「2字 + 1数字」部分のことを指す[7]脚注略。「2字」はアマチュア局の国籍を表す。日本の場合は、JA ~ JS、7J ~ 7N、8J ~ 8Nのうちのいずれかが用いられる。続く「1数字」は、総務省では「地方局別の数字」と称しており、管轄の総合通信局、すなわち地域を表している[8]。

「サフィックス」

「1 ~ 5字」部分のことを指す。

脚注[8] 海外では資格を表す場合もある。また、海外には、2字または4字のプリフィックスも存在する

皆さんは「CQ ham radio」が毎年1月号の付録として発行する「HAM NOTE BOOK」をお持ちになっておられることと思います。その34ペ - ジから39ペ - ジまでの「DXCCエンティティ・リスト」をご覧ください。この最初に「プリフィックス」が藍色の枠に白の浮き出しの文字で書かれています。その行の最初に「* 1 (Spratly Is.)」、次が「1A0 (Sov. Mil. Oder of Malta)」で、36ペ - ジの後半に「JA-JS (日本)」、次に「JD1 (南鳥島)」「JD1 (小笠原)」とあります。これがJA (日本) に割り当てられた「プリフィックス」になります。同40ペ - ジからの「国際呼出符号列分配表」で「7J-7N」、「8J-8N」が割り当てられ、7K1AAA、8J1RL (南極・昭和基地のアマチュア無線局)などの局があります。以上前述のとおり。

コンテストにおける移動運用の呼出符号(コールサイン)

さて、基本的な理解を深めたところで本題のコンテストにおける移動運用の呼出符号(コールサイン)におけるプリフィックスの呼称に焦点を移します。

前述のように移動運用の呼出符号(コールサイン)の呼称は、日本では慣例的(前術のように規定がない)に「/1 ~ 0」を使っていますが、

これはプリフィックスでもサフィックスでもないことがお分かりいただけると思います。ただし、これだけでは「JD1」が隠れてしまいます。米国では呼出符号(コールサイン)の前または後に「KH2/W3AAA」、「KB7OBU/KH2」、「W8/KH6XXX」、CEPT加盟のヨーロッパでは呼出符号(コールサイン)の前に「KH2/G3JAA」と呼称しています。

ここで言う「KH2、W8」とはなんですか。賢明な皆さんは「プリフィックス」であると答えるでしょう。そのとおりです。欧米ではこれではっきりしますが、日本では「/」以下は「プリフィックス」ではないのです。ここではじめに述べた「/1」に「/JD1」が含まれており問題が起きるわけです。事実当局も先日7月に小笠原「JA0SC/JD1」の「呼出符号(コールサイン)/JD1」と呼称して運用しました。

「/JD1」とは何でしょうか。「プリフィックス」そのものですね。「/JD1」には2つのエンティティ-(以前はカントリー、Countryといったが、「国」と紛らわしいので変更した)、すなわち「南鳥島、小笠原(かつて沖の鳥島もあったが、現在消滅エンティティ-となっている)」がありますので当局は「JA0SC/JD1」のあとに「小笠原」を添えました。

各種コンテストにおける移動運用の呼出符号(コールサイン)

各種コンテストで「マルチ (multiplier)」として「プリフィックス」を採用するものに2大コンテストのうちの1つ「CQ World-Wide WPX Contest」があります。JARLのコンテスト

(http://www.jarl.or.jp/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/Contest.htm 参照)のうち「プリフィックス」をマルチとしているのは、当然のことながら国際コンテストである「ALL ASIAN DXコンテスト」です。

このうち「ALL ASIAN DXコンテスト」では、ルールの中で以下のように規定しています。「7. 得点とマルチプレイヤー (2) アジア州以外の局 b: マルチプレイヤー 各バンドで交信したアジア州の局の「WPXコンテストルール」による異なるプリフィックス。」とあり、マルチの根拠として「WPXコンテストルール」を採用しています。

では、「WPXコンテストルール」ではどのように規定しているのでしょうか。「CQ World Wide WPX Contest」(<http://www.cqwp.com> 参照)の「Rules」で次のように規定しています。翻訳は、当局が行ったものですから原文を添えて各局の理解に供します。

The 2008 CQ World-Wide WPX Contest Rules -- VII. Prefix Multipliers:(a)から

A PREFIX is the letter/numeral combination which forms the first part of the amateur call.

PREFIXは、アマチュア局コールの最初の部分を構成する文字/数字の組み合わせです。

Examples: N8, W8, WD8, HG1, HG19, KC2, OE2, OE25, etc.

例: N8、W8、WD8、HG1、HG19、KC2、OE2、OE25など。

Any difference in the numbering, lettering, or order of same shall constitute a separate prefix.

数字の付番、文字のレタリング、印字または、それらの順のどんな違いも別々のprefixを構成するものとしません。

A station operating from a DXCC country different from that indicated by its callsign is required to sign portable.

その呼び出し符号によって示されたそれと異なったDXCCカントリーで運用する局は、ポータブルを表示することが必要です。

The portable prefix must be an authorized prefix of the country/call area of operation.

ポータブルprefixは、その国で認可されたprefix/運用のコール領域のprefixでなければなりません。

In cases of portable operation, the portable designator will then become the prefix.

ポータブル運用の場合、ポータブルの指示子(/以下の文字列)は、prefixになるでしょう。

Example: N8BJQ operating from Wake Island would sign N8BJQ/KH9 or N8BJQ/NH9. KH6XXX operating from Ohio must use an authorized prefix for the U.S. 8th district (W8, K8, etc.).

例: ウェイク島から運用するN8BJQは、N8BJQ/KH9かN8BJQ/NH9とコールするでしょう。オハイオで運用するKH6XXXは、米国の第8番目の地区(W8、K8など)に認可されたものをprefixとして使用しなければなりません。筆者注: KH6XXX/W8、K8/KH6XXX。

Portable designators without numbers will be assigned a zero (Ø) after the second letter of the portable designator to form the prefix.

ナンバーのないポータブル指示子(/以下の文字列)は、prefixを構成するポータブル指示子(/以下の文字列)の第2番目の文字の後にゼロ(Ø)を割り当てられるでしょう。

Example: PA/N8BJQ would become PAØ.

例: PA/N8BJQは、PAØになるでしょう。

All calls without numbers will be assigned a zero (Ø) after the first two letters to form the prefix.

ナンバーのないすべてのコールは、prefixを構成するため最初の2文字の後に(Ø)を割り当てられるでしょう。

Example: XEFTJW would count as XEØ. Maritime mobile, mobile, /A, /E, /J, /P, or interim license class identifiers do not count as prefixes.

例: XEFTJWは、XEØにカウントされるでしょう。マリタイム・モービルそして、モービルの/A、/E、/J、/Pまたは、当座のライセンスクラス識別子は、prefixとしてカウントされません。

You may not make up your own prefix.

あなたは、あなた自身の prefixを作ることができません。

おわりに

今回「移動運用における呼出符号(コールサイン)」と題して一文を記述したのは、7月のNVCGコンテストで当局の小笠原での運用「JAØSC/JD1」の「プリフィックス」が「JD1」ではないと言われたからです。当局は、この「プリフィックス」は「JD1」小笠原であると申したのですが、ちゃんとした根拠を持っていたわけではありません。そこで、あちこちの関係する事項を引き出してまとめたのがきっかけです。

おおかたのご理解を得られれば幸いですと同時に、私の胸の痞えがすっきりとしたこととなります。